

日本N I E学会会報 第6号

日本N I E学会事務局
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2
国立大学法人横浜国立大学教育人間科学部
重松克也 研究室
TEL/FAX 045-339-3433
E-mail ka-shige@ynu.ac.jp

日本N I E学会第4回大会のご案内 (一次案内)

と自由研究発表の募集

日本N I E学会会長 影山清四郎
第4回大会実行委員長 小原 友行

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日本N I E学会第4回大会を以下の要領で開催することになりましたので、ご案内申し上げます。多数の皆様のご参会をお待ちいたしております。

1 大会テーマ 優れたN I E実践の理論化をめざして

2 期 日 平成19年11月17日(土)～18日(日)

第1日 11月17日(土)

11:30	12:00-13:00	13:00-14:45	15:15-16:45	17:00-17:45	18:00-			
受付	理事会 交流	シンポジウム	休憩 交流	課題研究 I	休憩 交流	総会	移動	懇親会

※「交流」は、交流タイムの略です。

第2日 11月18日(日)

8:30	9:00-10:30	10:45-12:10	
受付 交流	自由研究発表	休憩 交流	課題研究 II

3 会場

広島大学大学院教育学研究科 〒739-8254 東広島市鏡山1丁目1-1

《アクセス》

JR西日本 山陽本線 西条駅より： バス12～15分 280円、タクシー10分 約1,600円

JR西日本 山陽新幹線 東広島駅より： タクシー10分 約1,600円

※ 交通・周辺地図の詳細は、

広島大学ホームページ (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>) 内の

「交通アクセス・地図」をご覧ください。

構内の駐車場をご利用いただけます。土曜日につき、パスカードなしで入構できます。

懇親会会場

リーガロイヤルホテル広島大学学士会館1階レストラン「ラ・ポエム」

広島大学東広島キャンパス内にあります。総会会場より徒歩3分 Phone (082)493-8112

- 4 参加費 大会 2,000円 (学生・院生 [社会人を除く] 1,000円)
懇親会 5,000円 (予定)

- 5 後援 広島県教育委員会、広島市教育委員会

6 プログラム

第1日 11月17日(土)

理事会 12:00-13:00

シンポジウム 13:00-14:45

テーマ 「優れたNIE実践とは ～理論化のためのフレームづくり～」

コーディネータ 柳澤 伸司 (立命館大学)

シンポジスト 種谷 克彦 (広島市立安佐北中・高等学校)

福田 徹

(武庫川女子大学・前読売新聞大阪本社NIEネットキャスター)

中西 一彦 (大阪教育大学附属天王寺中学校)

平石 隆敏 (京都教育大学)

課題研究Ⅰ 15:15-16:45

テーマ 「日本型NIEの理論化をめざして(2)～実践家の事例分析を通して～」

コーディネータ 小原 友行 (広島大学)

提案者 臼井 淑子 (横須賀市立鴨居小学校)

山元 隆春 (広島大学)

植田 恭子 (大阪市立昭和中学校)

高木まさき (横浜国立大学)

総会 17:00-17:45

懇親会 18:00-

第2日 11月18日(日)

自由研究発表 9:00-10:30

課題研究Ⅱ 10:45-12:10

テーマ 「NIEの教育的効果に関する実験・実証的研究

～リテラシーを育成するNIE授業の開発を通して～」

コーディネータ 野津 孝明 (島根県教育委員会)
提案者 松岡 靖 (東広島市立下黒瀬小学校)
藤川 由香 (坂出市立櫃石中学校)
河井 俊彦 (島根県立浜田高等学校)

7 自由研究発表の募集

自由研究発表の発表者を募集いたします。学会員はどなたでも応募できます。発表内容は、N I Eに関するものであれば、実践報告や理論研究など、特に限定はありません。発表時間は30分(発表20分+質疑10分)を予定しています。

自由研究発表を希望される方は、①氏名、②所属、③発表テーマを、8月15日(水)までに、メールまたはファクスでお申し込みください。

8 交流タイムのご案内

交流タイムとは、休憩時間ほか指定された時間に、各新聞社等のN I Eに関する取り組みの紹介、会員の方の情報交換等を自由に行うものです。交流タイム用の教室を1部屋用意します。

交流タイムへのご出展を希望される方は、①氏名、②所属、③企画を、8月15日(水)までに、メールまたはファクスでお知らせください。なお、会場等の都合でお断りすることもありますので、予めご了承ください。

9 発表要旨集録用原稿の様式等

シンポジウムのパネリスト、課題研究の提案者、自由研究発表の発表者は、同封の別紙様式で発表要旨収録用原稿(1ページ)を作成し、プリントアウトした原稿を、9月29日(土)までに郵送してください(必着)。お送りいただいた原稿は、そのまま印刷いたします。

10 その他

(1) 宿泊案内

東広島市内で広島大学に比較的近い主なホテル等をご紹介します。

広島大学東広島キャンパス付近

国民年金健康保養センターひがし広島 (082)422-8211

JR 山陽本線西条駅付近(五十音順)

東横イン東広島西条駅前 (082)422-1045

東広島グリーンホテルモーリス (082)493-7070

東広島シティーホテル (082)422-8686

ホテルサンライズ 21 (082)431-3232

JR 山陽新幹線東広島駅付近

スリープイン東広島 (082)426-2222

誠に恐縮ではございますが、宿泊等の手配につきましては各自でお願いいたします。
なお、東広島市内の予約が難しい場合は、広島駅周辺をお探してください。

(2) 研究発表等の詳細

発表資料の部数、発表用機器等につきましては、第2次案内の際にご案内する予定です。

(3) 自由研究発表及び交流企画申し込み・発表要旨集録用原稿の送付先

〒739-8254 東広島市鏡山1丁目1-1 広島大学大学院教育学研究科内
日本NIE学会第4回大会実行委員会事務局 朝倉 淳
Phone/Fax (082) 424-7130
E-mail aasakura@hiroshima-u.ac.jp

委員会から

◆ 機関誌発行委員会：学会誌第2号発行の御礼と第3号への投稿募集について

会員の皆様のご尽力とご協力により、学会誌第2号を、無事、発行することができました。投稿下さった方々、査読にあたって下さった理事各位に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。学会誌第2号は、既にお手元に届けられたことと思っておりますが、合計10篇の投稿論文を掲載することができました。創刊号が8篇でしたので、数も増えて充実したものにすることができましたことを、会員の皆様とともに慶びたいと思っております。

さて、上述のように、第2号では、創刊号よりもさらに充実を果たせたという思いをもっておりますが、他方、編集の経緯の中で、いくつかの課題となる事柄も感じました。以下、それについて簡単に触れてみますと、次のようなことがあります。

1つは、大学等の研究者からの投稿論文が多い現状を、今後大いに広げていく必要性を感じます。と言いますのも、本学会の規約には、「N I Eの学術的調査研究」のみならず、「幼・小・中・高・大学そして社会人を含めたN I E実践の推進と開発」そして「N I E教育の普及・助成」が謳われています。(第4条)ここからすれば、もっともっと多くの実践者あるいは社会人による論文の投稿をうながし、かつまた、それをお願いしていかなくてはなりません。

2つには、学会誌である以上、投稿に際していくつかの要件を守っていただくことは重要なことであると考えています。例えば、「意図や目的が明確であること」「先行研究の紹介や、あるいはそれらとの違いが示されていること」「調査や実践のプロセスが明瞭であること」「目的や意図に照らした考察や意味づけがなされていること」「図や表の挿入が適切であること」「引用や参考文献が、本文との対応で、註に明記されていること」「所定のページ数に収められていること」などです。これらを遵守していただくことで、誰もが読める論文になるからです。

3つには、学校として取り組んだ共同研究や、各県に置かれたN I E推進協議会での実践報告をもとに書いた論文の場合は、そのままのものを投稿いただくのではなく、校長に許可を得て、それをあらかじめ本文のどこかで書き記しておくとか、投稿する会員が主体となった書きぶりに改めたり、内容を改めて書き下ろすなどの工夫が必要かと思われまます。このような工夫が認められない場合には、転用の誤解を招きかねませんので、避けていただきたいと思っております。

4つには、蛇足ながら、引用や出典の明記も大切なことです。論文はエッセイとは異なり、一定の資料に基づき考察していきますので、引用や出典についても、本文にその箇所を示して正確を期すようご留意いただきたいと思っております。

5つには、投稿の締め切り日（毎年11月30日）、ならびに執筆ページ数（8～10ページ（図表等を含む））も、何卒宜しく厳守下さるようお願いいたします。

昨今の教育界では、「学力向上」が脚光を浴び、加えて「読解力の育成」が叫ばれています。また、知識技能の習得型の教育と並んで考える力を育成する探究型の教育が提起され、両者を繋ぐ「活用」の重視が謳われています。こうした動向は、従来からの学力観に転換をもたらすところとなるでしょう。本学会が掲げるNIE実践の推進と開発、あるいはNIE教育の果たすべき役割が、ますます大きくなってきていると言えます。こうした動向を反映した、創造的な研究と実践を掲載できればという思いをもっております。次号は第3号の編集となります。会員の皆様の、ふるっての投稿をお待ち申し上げております。

（機関誌発行委員会委員長 寺尾慎一）

地区支部の活動

◎ 近畿地区

平成19年3月21日、大阪教育大学（天王寺）において、日本NIE学会近畿支部の設立大会を開催しました。参加者は、近畿各地の実践者や研究者、新聞関係者など約50名にもものぼり、近畿支部の設立と役員承認の後、「NIEのこれまでとこれから」と題したシンポジウムと小中高からの実践発表を行ないました。

府県を越えた実践者の自由な交流と意見交換とを目的とした会にふさわしく、「NIEの理論化」の意味や「NIEのカリキュラム化」の可能性、さらには「そもそもNIEの定義はあるのか」や「新聞は十年後も存在するのか」など、普段なかなか議論されることのない話題についても率直かつ活発な議論がたたかわされました。

なお第2回の開催は12月頃を予定しております。（京都教育大学 平石隆敏）

会報ニュース

1. 前号でもお知らせしましたが、会員名簿発行の準備を進めています。少し遅れておりますが、夏ごろ（7月～8月）発行できると思います。
2. 会報の冒頭に記載しておりますように、学会事務局に一部変更があります。
 - ・「影山清四郎 研究室内」から「重松克也 研究室内」へ
 - ・E-Mail ka-shige@ynu.ac.jpそれ以外については変更ありません。
3. 学会費（会員5,000円、学生会員2,000円）の納入をよろしくお願いします。
 - ※ 東京三菱UFJ銀行 大阪駅前支店
 - 口座番号：4518494
 - 口座名義：日本NIE学会 事務局長 枝元一三

第2期理事・幹事候補者選挙について

日本N I E学会の第2期理事・幹事候補者選挙を実施いたします。選挙様式一式を同封しておりますので、「投票要領」をお読みの上、投票をお願いいたします。投票締め切りは8月15日です。

選挙管理委員会による開票の後、9月中に当選候補者を確定し、11月の大会総会にお諮りする予定です。

なお選挙管理委員会は、理事候補者及び監事候補者選出細則7条にもとづき、下記のように設置されました。（敬称略）

委員長	森田	英嗣
委員	枝元	一三
	阪根	健二
	平石	隆敏
	谷田部	玲生